

PIA

シラン系浸透性吸水防止材

# コンフィックス SM-7P

F★★★★

コンフィックスSM-7Pは、特殊シラン系化合物を主成分とした浸透性吸水防  
止材です。張りタイルの目地部をはじめ、コンクリート、石材、レンガ等の無機  
質構造材に処理することにより、躯体中の湿気や水分と反応し活性化すると  
同時に、構造材の成分と結合して固化し、美観を損うことなく構造物に吸水防  
水層を形成する反応性の保護材です。低粘度の液体ですので施工はとても  
簡単。各種仕上げ塗材を施工することも可能です。



防水性

吸水防止性

通気性

極めて優れた浸透性を持っています。

分子構造が10オングストローム程度と非常に小さいため、すばやく  
浸透します。

優れた通気性を持っています。

表面被覆形や充填形と異なり、コンクリート中の水分と反応して  
吸水防止性をだすため、水は通さず高い通気性は保持します。

現状の外観を損うことなく仕上ります。

コンフィックスSM-7Pは無色透明、またコンクリートとの反応で変  
色することはありません。躯体表面はそのまま外観を維持します。

雨水等の外部からの水の侵入を防ぎます。

コンフィックスSM-7Pの吸水防止層は、雨水の侵入を防ぎます。

耐久性に優れた保護層を形成します。

処理面内部に深く浸透した保護層は、紫外線の影響を受けにくく、  
また、熱や温度変化に対しても影響されず、長期間吸水防止性能  
が持続します。

シラン系浸透性吸水防止材

# コンフィックスSM-7P

## ■標準施工工程

### タイル張り仕上げ外壁の場合

工 程	材料名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	タイル張り仕上げ壁面の劣化・破損箇所は、国土交通省大臣官房官厅営繕部監修『建築改修工事監理指針 令和4年版』(一般財団法人／建築保全センター編集・発行)4節 タイル張り仕上げ外壁の改修に準じて改修する。タイル部分張替え工法、目地ひび割れ改修工法、樹脂注入工法、Uカットシール材充填工法、アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法などの工法を適切に選定し、改修する。						
洗 済	汚染物質を洗浄し、充分に乾燥させる。						
上塗り	コンフィックスSM-7P	12kg	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> 40~60m <sup>2</sup> /缶	2~3	3時間 以上	—	中毛ローラー <sup>エアレス</sup>

## ■適用下地

タイル張り仕上げ壁面、現場打ちコンクリート、PC、モルタル、  
石綿スレート、石材(大谷石等)、れんがなど

## ■包装単位

コンフィックスSM-7P.....12kg缶

## ■施工・保管上の注意点

### [塗装面の調整(新設)]

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、リタンス等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は表面の含水率10%以下H10以下になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③雨上がり後は均一に乾いてから施工して下さい。
- ④打放しコンクリート面は、できる限り均一な面であることが望ましく、隙間シヤンカがないことが理想ですが、補修する場合は軽体と同様で吸込みが程度のセメントペースト、モルタルで補修して下さい。
- ⑤目地にはコンクリートの表面を汚さない傷つけのケガギは避け、コンクリート面に跡が残らないものを使用して下さい。
- ⑥屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ⑦より突出した部分、木綿維などの除去には、周囲を傷つけやすいディスクサンダーを使用せず、タガネでは取り除いて下さい。
- ⑧離型剤、油脂等が付着している場合シナフで拭き取って下さい。
- ⑨破損部分、亀裂部分、床面モルタル又はセメントペーストで補修して下さいこの時、補修面がそのまま現われますので、できるだけ色を合わせて補修して下さい。
- ⑩エプロ白蟻山イターンは、ワイヤーブラシ、サンドペーパー、サンダー等でけずり落として下さい。又、エプロが固着して除去するか困難な場合には、予め表面に散水して飽和してからON程度の稀塩酸を布ごとに表面を軽く拭きたださう。水洗いして下さい。酸化する場合は梅雨期等の湿気の高い時期は控えて下さい。
- ⑪欠損部分がひどい場合はボマーーセメント比5%以下の補修材による処置を施して下さい。
- ⑫張り替える面に施工する場合は、アフターケア系、フタル酸系モルタル系の洗浄剤は避けたままで下さい。酸性やアルカリ性が残るアリカル面に白化や汚染を生しますので、十分に中和して下さい。

### [材料の保管管理]

- ①開封した材料は必ず密栓し直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したもののは十分攪拌し変質の有無を確認して下さい。
- ③コンフィックスSM-7Pは危険物ですので火気や換気に充分注意して下さい。

### [施工]

- ①気温5℃以下降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場所、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業終了後は雨、雪の恐れのある時は雨雪養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し均一にからしてから使用して下さい。
- ③コンフィックスSM-7Pは、希釈しないで使用して下さい。
- ④塗付ガムは必ず2回塗りまたは下地の状況(ALC、軽量コンクリートブロックなど吸込みが著しい場合等)によっては3回塗りして下さい。塗付量は下地の種類によって工程表の標準値よりも増えることがあります。
- ⑤新しいコンクリート、モルタル面は夏期2週間以上放置乾燥後塗布して下さい。下地に水分があると浸透を招きますので十分に下地を乾燥させてから塗布して下さい。
- ⑥材料は付着乾燥しますと取れませんので、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない施工時建物の窓辺に飛散しないよう注意して下さい。また塗付後は速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは  
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。  
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



(25.9月現在)25.9. SJ